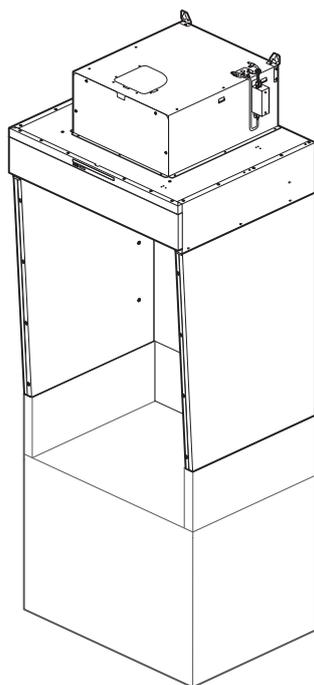


店舗専用

レンジフード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2 ~ 3	2. フードの取り付け.....	12 ~ 17
取り付け上のお願い.....	4	3. 排気ダクトとの接続.....	17
取り付け前の調査と準備.....	5 ~ 6	4. 温度ヒューズ取付状態の確認.....	18 ~ 21
各部のなまえ.....	7	5. 電気配線.....	22
製品寸法図.....	8 ~ 9	6. 取扱説明書の取りはずし.....	22
付属品.....	10	7. 試運転.....	23
取り付けかた.....	11 ~ 24	8. メンテナンススペースについて.....	23
1. 付属品の確認.....	11	9. 店舗管理者様への説明.....	24

⚠ 警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

施工管理会社・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、
店舗管理者様へ必ずお渡し
ください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

4103 0182



* 4 1 0 3 0 1 8 2 *

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

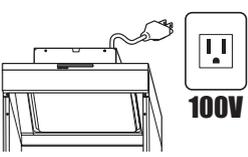


○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります</p> </div> </div> <p>分解・修理・改造禁止</p>	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください</p> </div> </div> <p>アースを取り付ける</p>
<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 交流 100 V 以外では使用しないこと 火災・感電の原因になります</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  <p>100V</p> </div> <p>使用禁止</p>	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 製品とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください</p> </div> </div> <p>取付注意</p>
<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります</p> </div> </div> <p>埋込禁止</p>	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります</p> </div> </div> <p>取付注意</p>

2

安全上のご注意

警告



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



取付注意

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります



取付注意

- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラシ網など）と接触しないよう取り付けること

漏電した場合、発火するおそれがあります

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください。)

感電および故障の原因になります



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けないこと

火災・故障の原因になります



禁止

- 製品の上に乗ったり、重いものを載せないこと

製品の変形や落下によるけがなどの原因になります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと

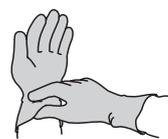
けがをするおそれがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

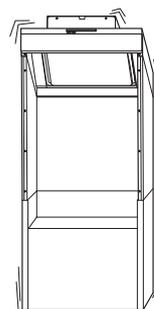
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確実におこなうこと

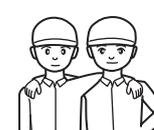
落下によりけがをするおそれがあります



取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと

レンジフードは約 52kg の重さがあります



取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

- **管工事**

- 【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（施工管理会社）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- **ダクトの不燃処理について**

- ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

- **屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。**

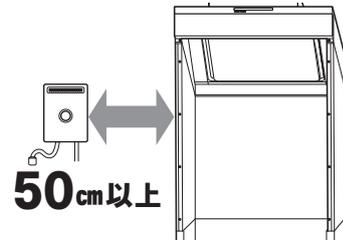
防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

- **非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。**

- **本体やダクトなどが他の電気製品と接触しないように取り付けてください。**

- **製品は調理機器の真上に取り付けてください。**

- **レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。**



- **製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。**

- **建物が密閉されている場合は必ず、適切な空気取入口を設けてください。**

- **寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。**

- **ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：勾配 1/100 ~ 1/50 程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。**

- **汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。**

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 製品とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すが、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください



取付注意

- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります



取付注意

- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラース網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

注意



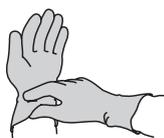
取付禁止

- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります



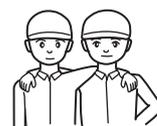
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



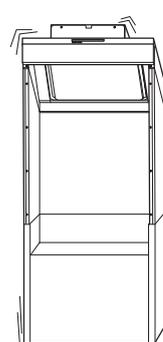
取付注意

- 作業は2人以上でおこなうこと
レンジフードは約52kgの重さがあります



取付注意

- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下により、けがをするおそれがあります



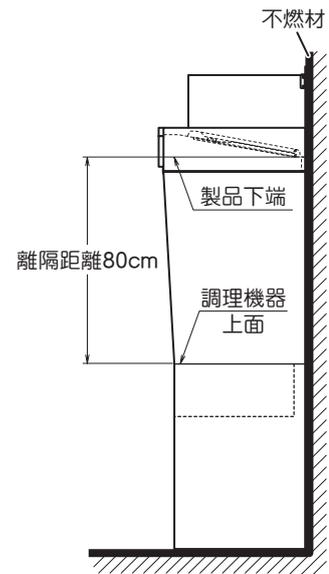
取り付け前の調査と準備

1 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。

お願い

調理機器の組み合わせおよび地域の火災予防条例により、離隔距離等が異なる場合があります。その場合は条例に従ってください。



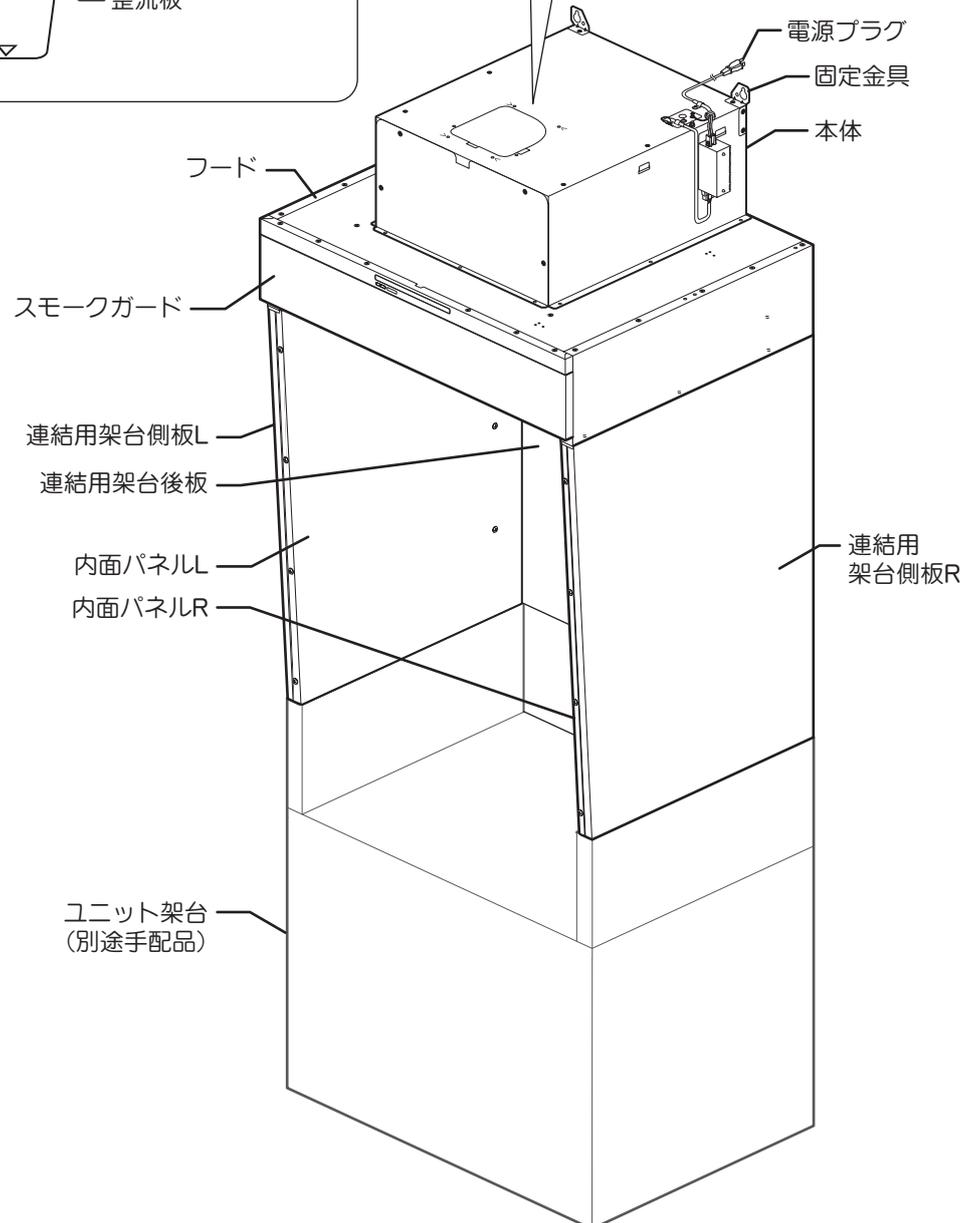
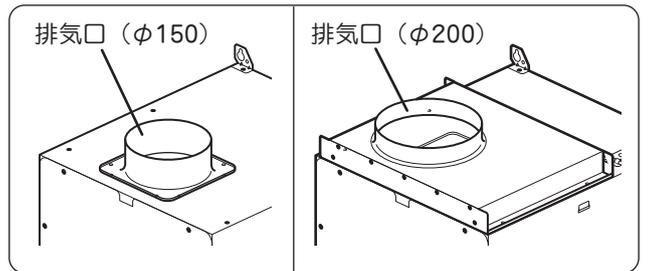
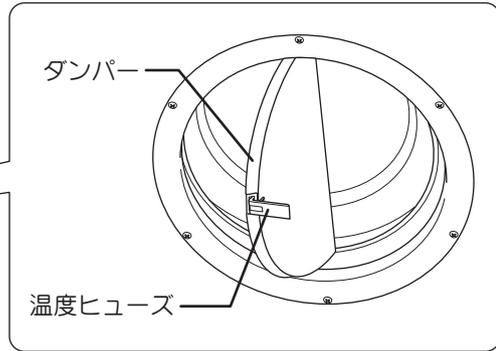
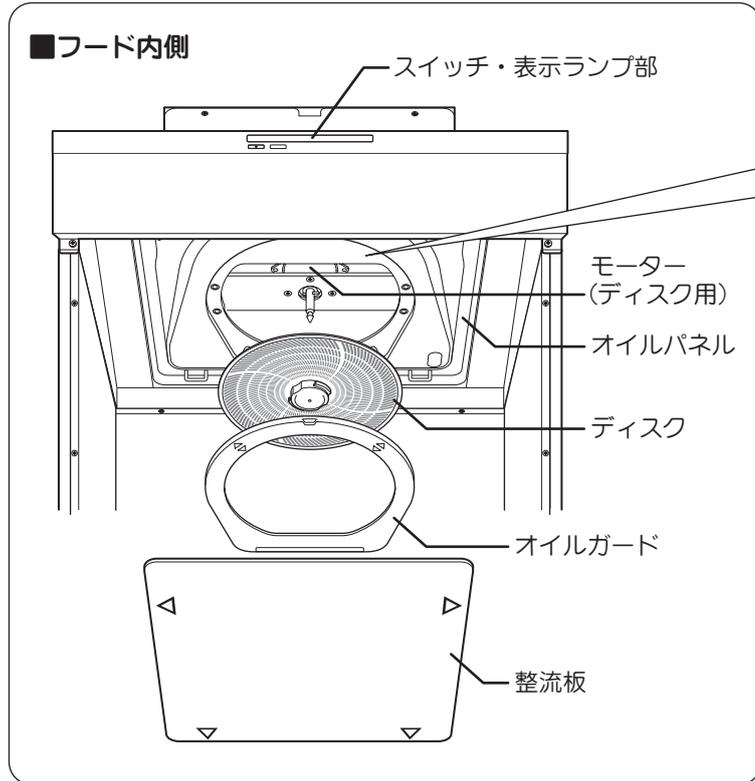
2 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・单相 100V)
コンセントは、JIS C 8303 2極接地極付差込接続器 15A 125V をご使用ください。

お願い

必ずアース工事（D種接地工事）をしてください。レンジフードが誤作動するおそれがあります。

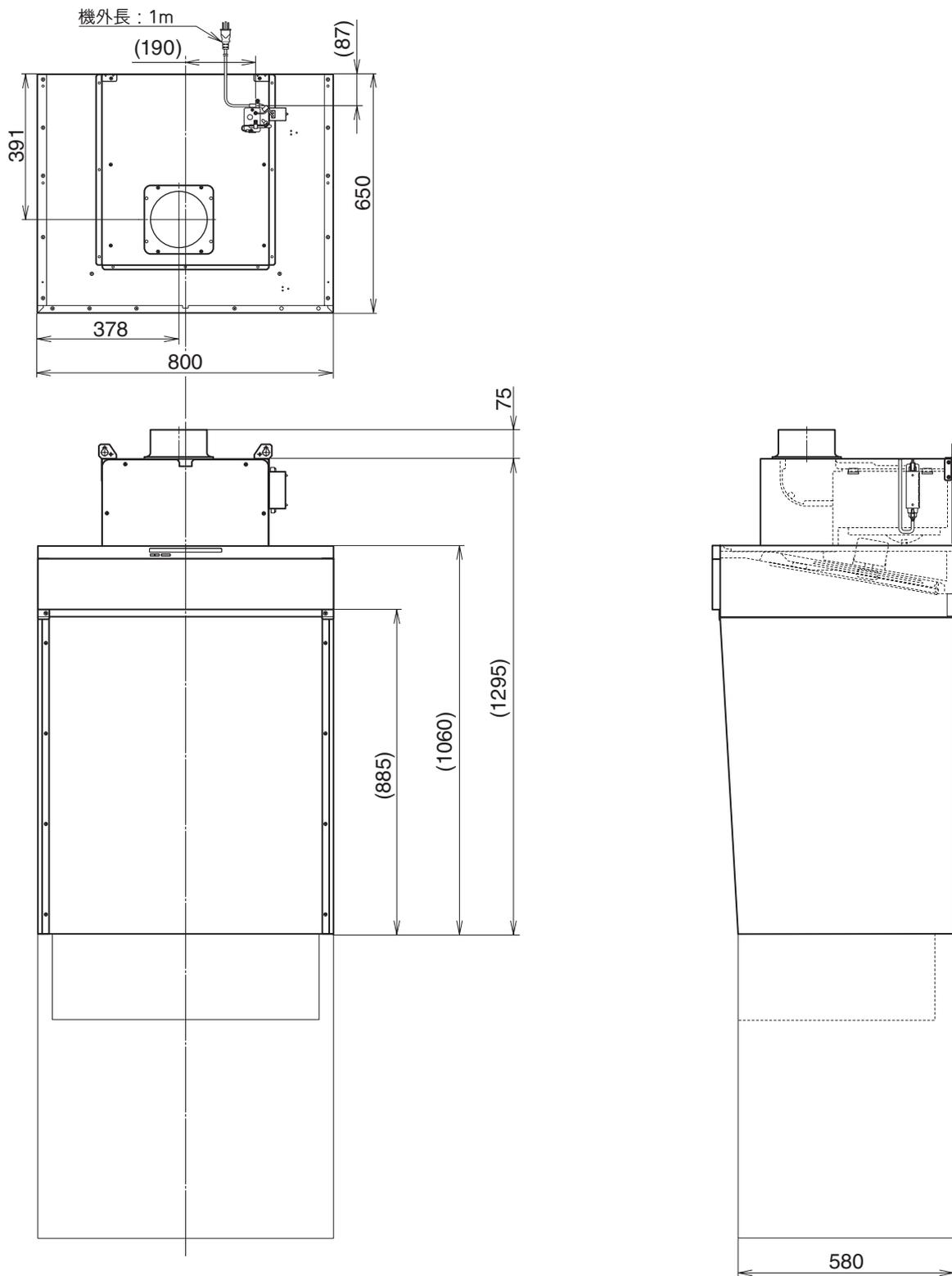
各部のなまえ



製品寸法図

(単位：mm)

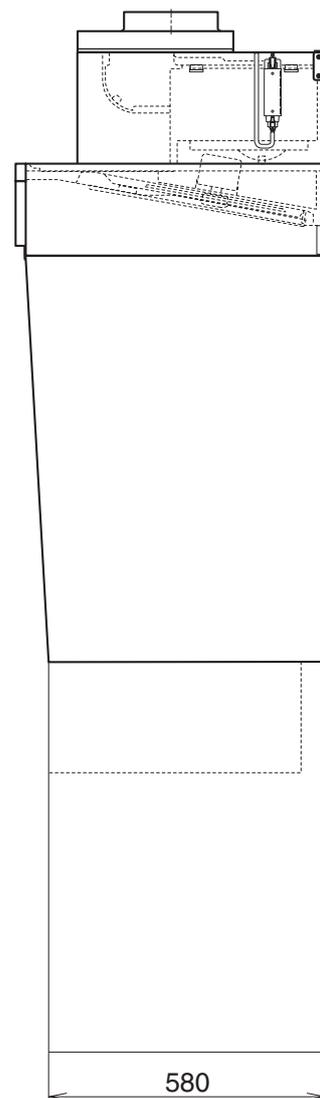
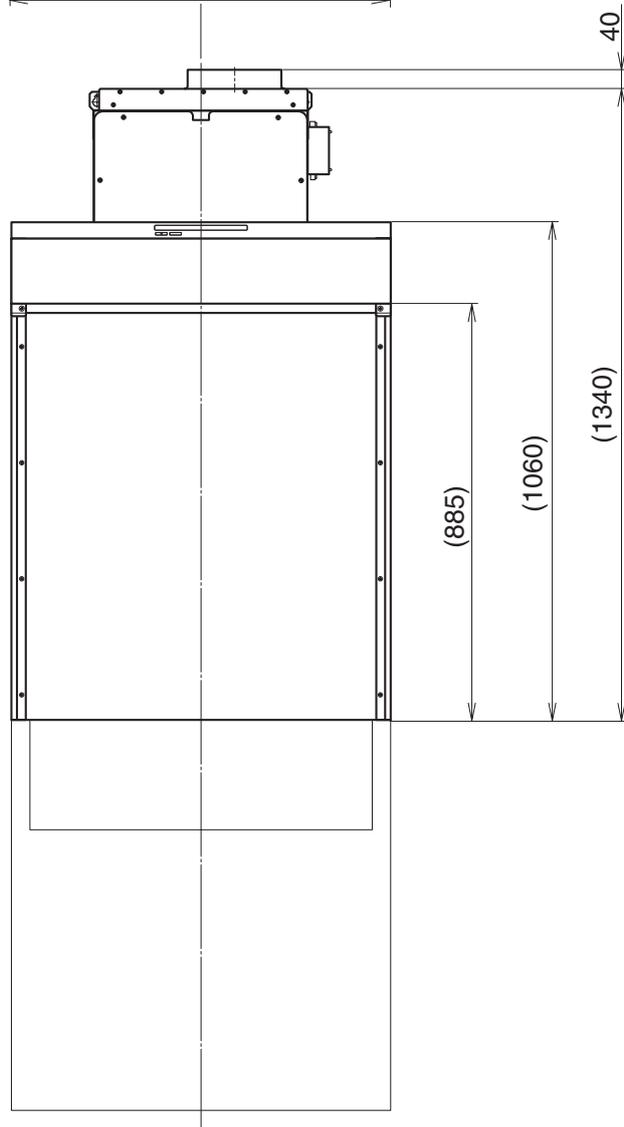
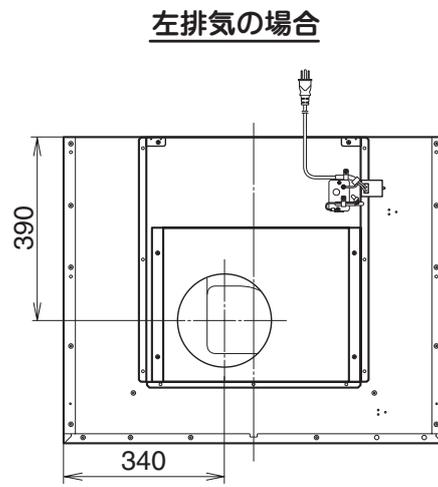
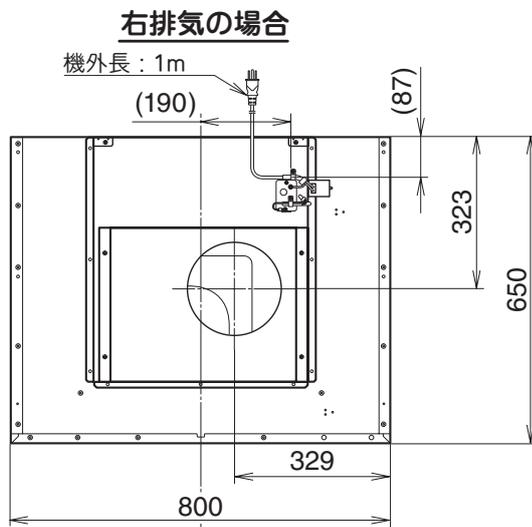
■ 配管φ150の場合



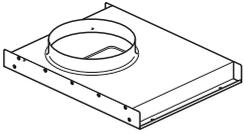
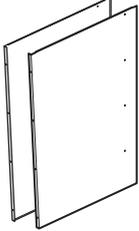
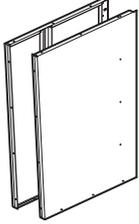
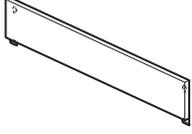
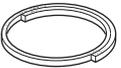
製品寸法図

(単位：mm)

■ 配管φ200の場合



付属品

	低頭ねじ (M4 × 8) (16 本)	内面パネルの取り付けに使用します。
	トラスねじ (M4 × 10) (21 本)	連結用架台とフードの取り付けに使用します。
	トラスねじ (M4 × 12) (2 本)	スモークガードの取り付けに使用します。
	(配管φ150の場合) 排気口 (1 個)	本体とダクトの接続に使用します。 ※ 製品仕様により、排気口・排気チャンバー BOX のどちらかが付属しています。
	(配管φ200の場合) 排気チャンバー BOX (1 個)	
	内面パネル R/L (各 1 枚)	連結用架台に取り付けて使用します。
	連結用架台 側板 R/L (各 1 枚)	フードの取り付けに使用します。
	連結用架台 後板 (1 枚)	フードの取り付けに使用します。
	スモークガード (1 個)	フードに取り付けて使用します。
	ソフトテープ (1 本)	排気口または排気チャンバー BOX と、ダクトとのすきまをふさぐのに使用します。

取り付けかた

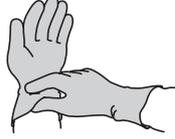
1. 付属品の確認

**注意**



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、前ページの付属品一覧により不足がないか確認します。

お願い

- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

取り付けかた

2. フードの取り付け

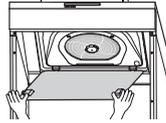
⚠ 注意



取付注意

- 部品の取り付けは確実に
おこなうこと

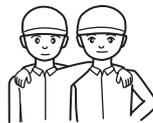
落下により、けがをする
おそれがあります



取付注意

- 作業は2人以上でおこなう
こと

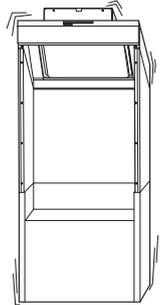
レンジフードは約 52kg の
重さがあります



取付注意

- レンジフードの
取り付けは十分
強度のあると
ころを選んで確
実に
おこなうこと

落下により、け
がをするおそれ
があります



1 ユニット架台（既設置済み）を確認します。

- 1) ユニット架台の左右固定面に損傷等がないか確認してください。

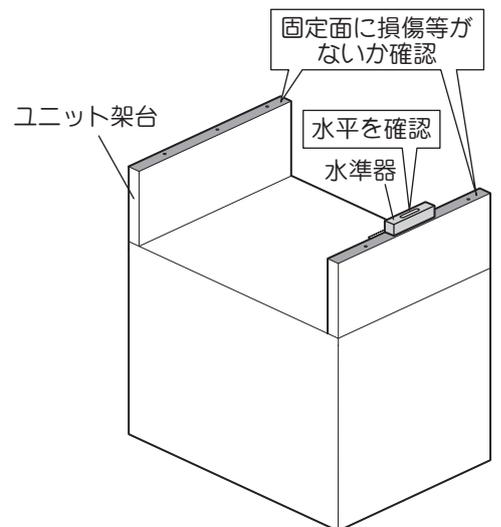
お願い

ユニット架台の固定部ですべての製品重量を支えるため、破損等がないことを確認してください。

- 2) 水準器等を使ってユニット架台の水平を測定します。水平でない場合はきちんと水平になるよう適宜調整してください。（調整方法はユニット架台の取扱説明書を参照してください。）

お願い

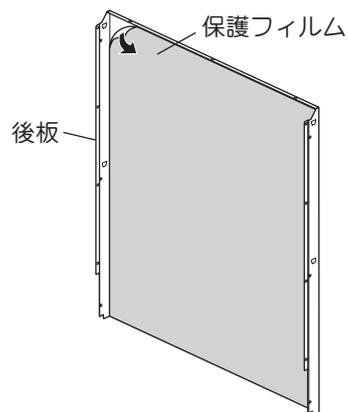
水平出しは確実にこなってください。ユニット架台が水平に設置されていないと、製品を正しく取り付けることができません。



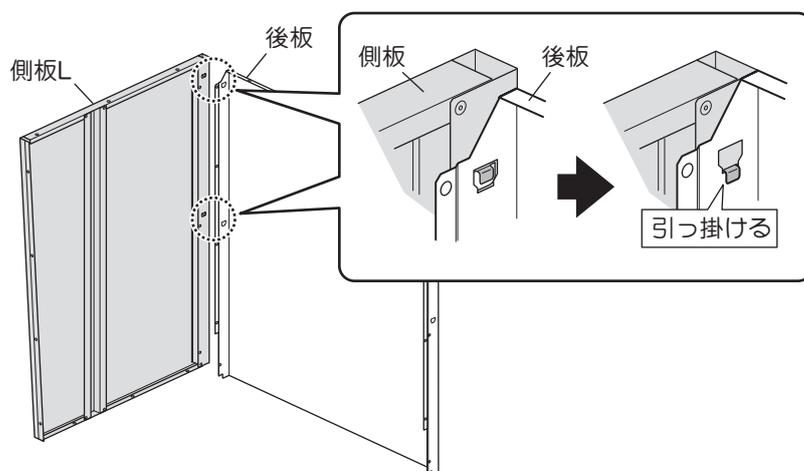
取り付けかた

2 連結用架台を組み立てます。

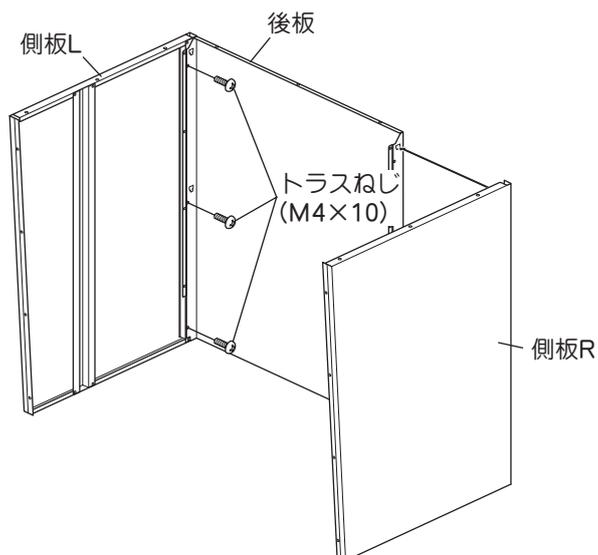
1) 後板の保護フィルムをはがします。



2) 後板に側板のツメ（2ヶ所）を引っ掛け、仮固定します。



3) 付属のトラスねじ（M4 × 10）3本で、側板を後板に固定します。



4) もう一方の側板も同様の手順で後板に固定します。

取り付けかた

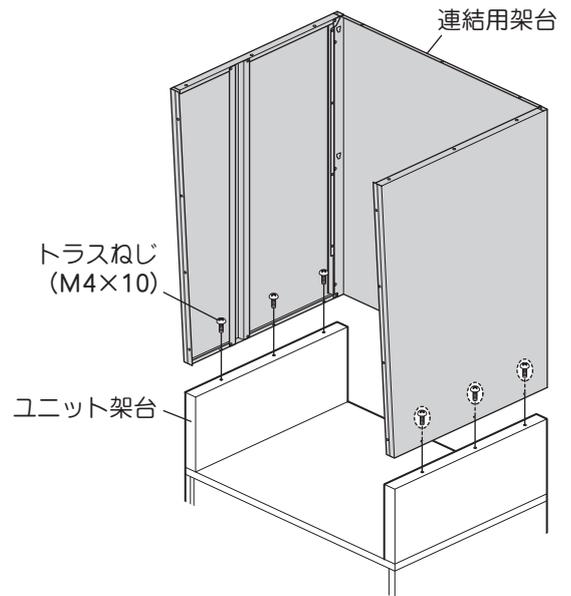
3 連結用架台を取り付けます。

ユニット架台の上に組み立てた連結用架台を面合わせで載せ、付属のトラスねじ (M4 × 10) 6 本で取り付けます。

※ 側板は保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。

お願い

- ・ユニット架台と連結用架台は、ズレがないよう確実に面合わせをして取り付けてください。
- ・必ず2人以上で作業をおこなってください。連結用架台がしっかりと取り付けられるまでは非常に不安定ですので、特にご注意ください。落下によりけがをするおそれがあります。
- ・取り付け後は連結用架台が確実に取り付けられていることを確認してください。がたつきなどがある場合は、市販のねじを使用して、さらに数ヶ所固定してください。



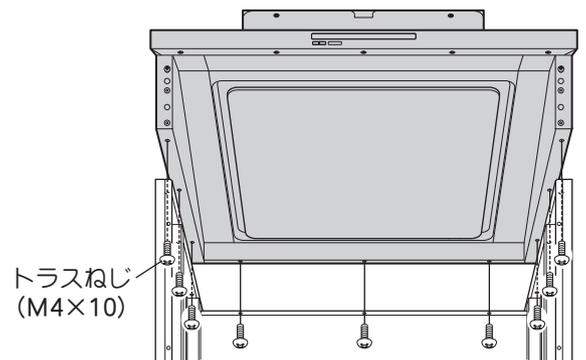
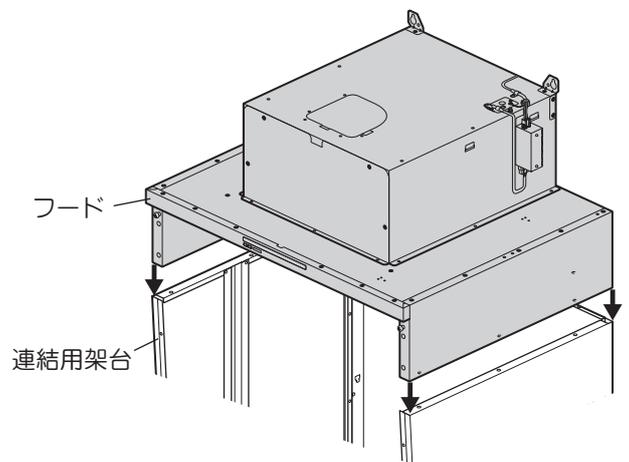
4 フードを取り付けます。

1) フードを連結用架台の上に面合わせで載せます。

※ フードは保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。

お願い

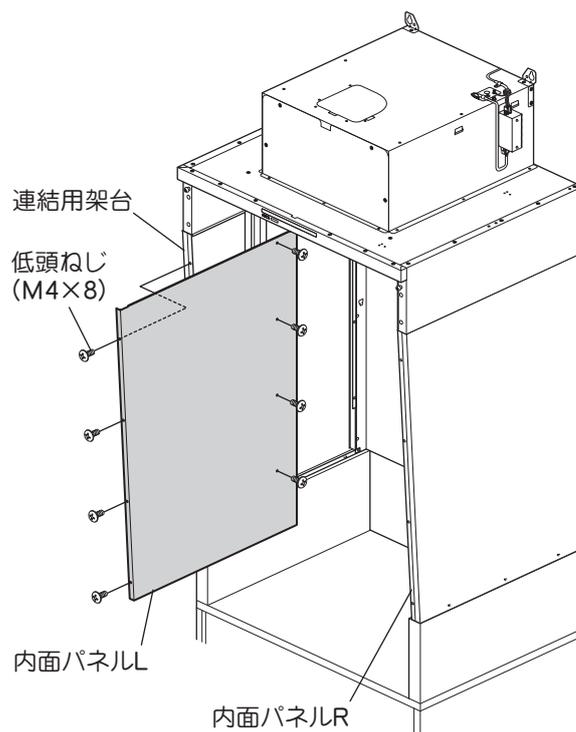
- ・フードはズレがないよう確実に面合わせをして載せてください。
 - ・必ず2人以上で作業をおこなってください。フードがしっかりと取り付けられるまでは非常に不安定ですので、特にご注意ください。落下によりけがをするおそれがあります。
- 2) フード下側から、フードの側面および背面を付属のトラスねじ (M4 × 10) 各 3 本でそれぞれ固定します。



取り付けかた

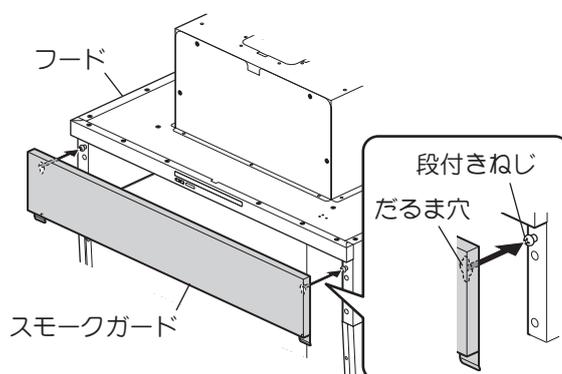
5 内面パネルを取り付けます。

- 1) 内面パネルの保護フィルムをそれぞれはがします。
- 2) 連結用架台の内側側面に、内面パネルを付属の低頭ねじ (M4 × 8) 各 8 本で取り付けます。

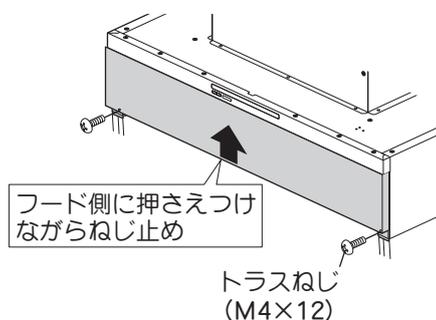


6 スモークガードを取り付けます。

- 1) フード前面の段付きねじ 2 本にスモークガードのたるま穴を引っ掛けます。
※ スモークガードに保護フィルムが貼ってあるものがあります。その場合、はがしてから取り付けてください。



- 2) スモークガードをフード側に押さえつけながら上方に持ち上げ、付属のトラスねじ (M4 × 12) 2 本で取り付けます。



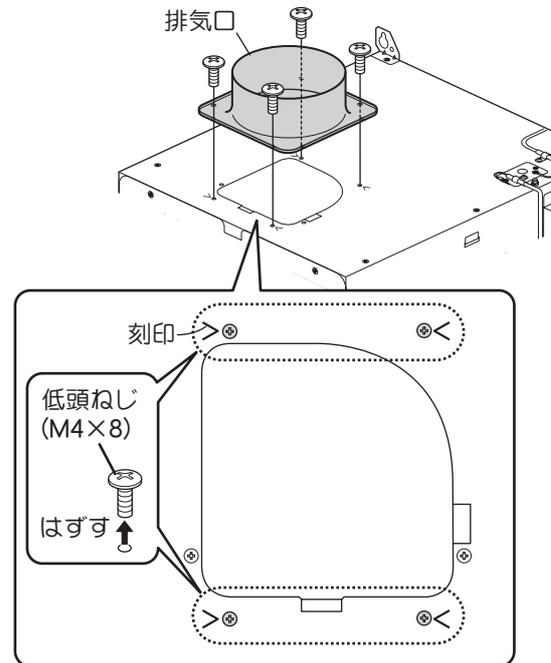
取り付けかた

7 排気口を取り付けます。

配管φ 150の場合

※「1. 付属品の確認」(11 ページ)の項で取り出した排気口を用意してください。

本体上面の刻印 (>) のある箇所に取り付けられている低頭ねじ 4 本をはずした後、はずした低頭ねじ 4 本で付属品の排気口を取り付けます。

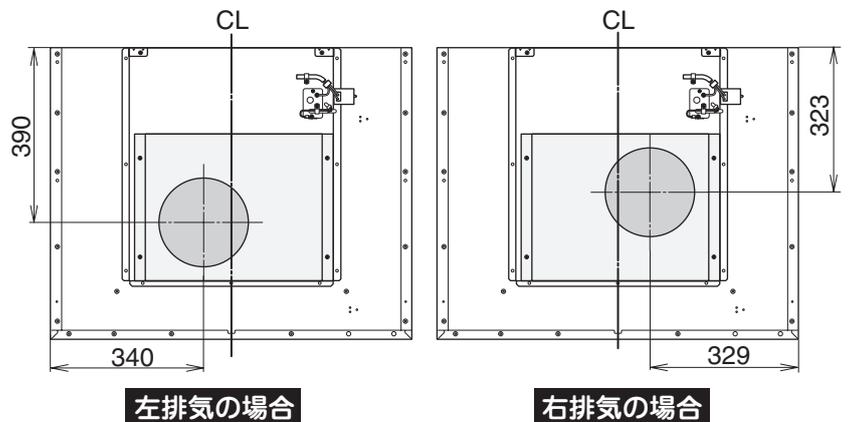
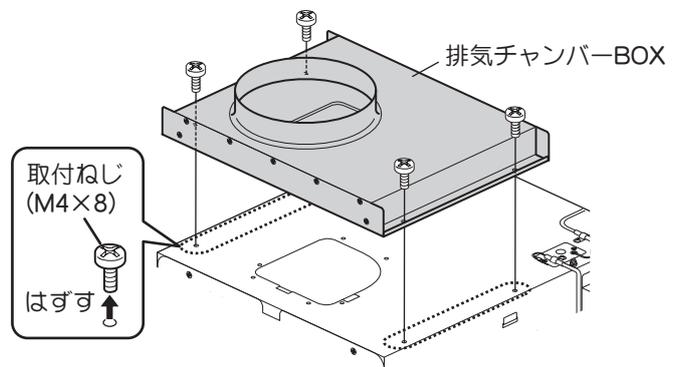


配管φ 200の場合

※「1. 付属品の確認」(11 ページ)の項で取り出した排気チャンバーBOXを用意してください。

本体上面の排気口取付位置に取り付いている取付ねじ 4 本をはずした後、付属品の排気チャンバーBOXをダクト位置に合う向きに合わせ、はずした取付ねじ 4 本で取り付けます。

※ 排気チャンバーBOXの取り付け方向については右図を参照してください。

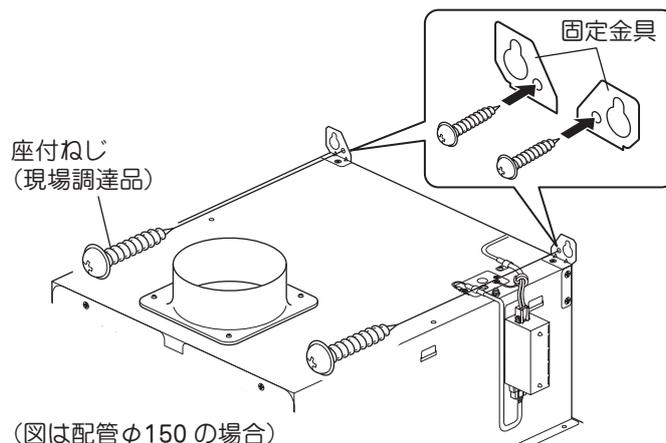


取り付けかた

■ 本体の固定 (任意)

万一の地震などによる事故防止のため、本体を壁面などに固定する場合は、本体上部の固定金具を使用して固定してください。

※ 設置する場所や地域によっては、火災予防条例等で耐震対策を義務づけている場合があります。この場合は、条例に従って正しく設置してください。

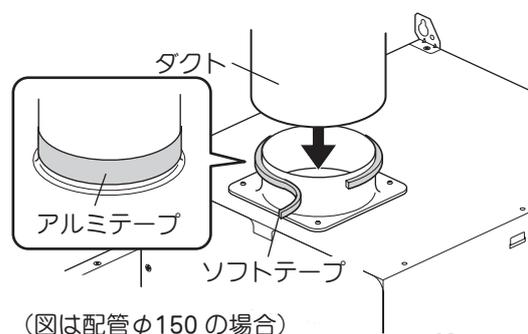


3. 排気ダクトとの接続

排気ダクトを接続します。

排気ダクト (現場調達品) の配管が終わったら排気口と接続し、接合部に風漏れ防止のテーピング (アルミテープ) をおこなってください。

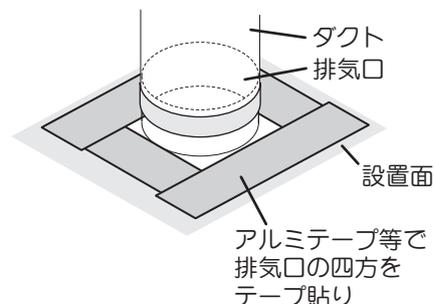
※ 排気ダクトと排気口 (配管φ 200の場合は排気ダクトと排気チャンバーBOX) との間にすきまがある場合は、付属のソフトテープを排気口 (配管φ 200の場合は排気チャンバーBOX) に貼り付けてください。



■ 排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとする、排気口と排気口の設置面が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転 (ターボ) をおこなってください。

漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等 (現場調達品) で漏風防止処置をおこなってください。

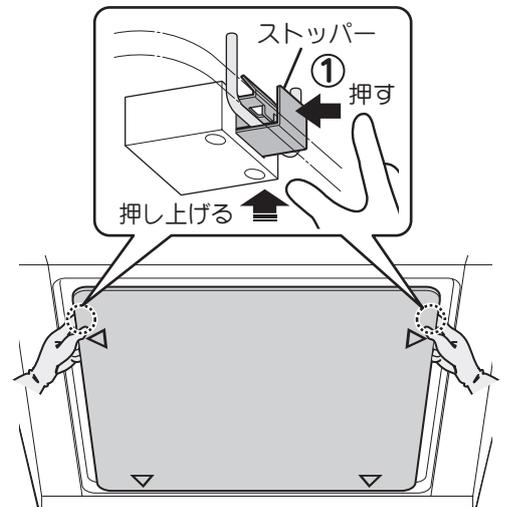


取り付けかた

4. 温度ヒューズ取付状態の確認

1 保護用クッション材を取りはずし、整流板をはずします。

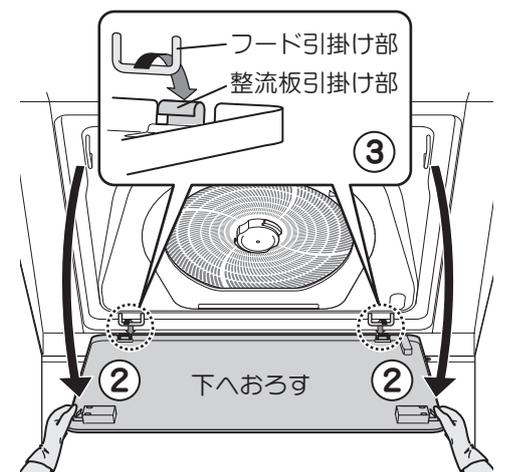
1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の(◁ ▷)マークの左右にあるストッパーを押してはずします (①)。



2) 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりとおろします (②)。

3) 右図のような位置で整流板の後ろを持ち上げ、フード引掛け部からはずします (③)。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
金具の変形の原因になります。

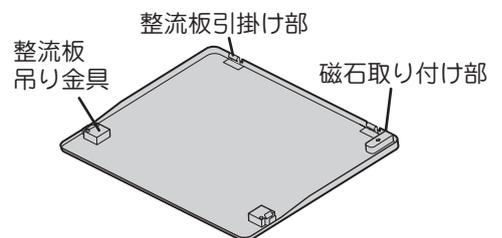


お願い

• 整流板の取りはずしと取り付けの際は、整流板引掛け部、磁石取り付け部、および整流板吊り金具を変形させないようにご注意ください。

変形させてしまった場合、整流板が取り付けられなくなるおそれがあります。

• 整流板の磁石をはずさないでください。
また他の磁石や磁性体を近づけないでください。

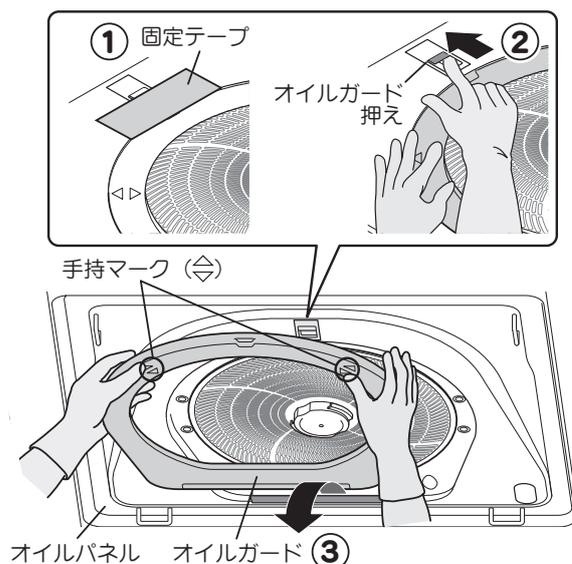


取り付けかた

2 オイルガードをはずします。

1) 固定テープをはがし (①), オイルガードの手持マーク (⇨) 近くを手で支えながらオイルガード押えを手前に軽く引き (②), オイルガードの前側をオイルパネルからはずします。

2) オイルガードの手持マーク近くを両手でしっかりと持ち、水平に保ちながら手前に引いてオイルパネルからはずします (③)。

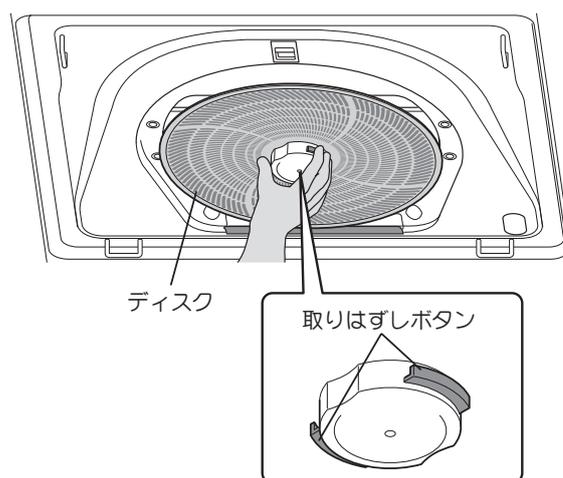


3 ディスクをはずします。

ディスクの中央にある取りはずしボタンを押しながら、そのまま下へ引き出します。

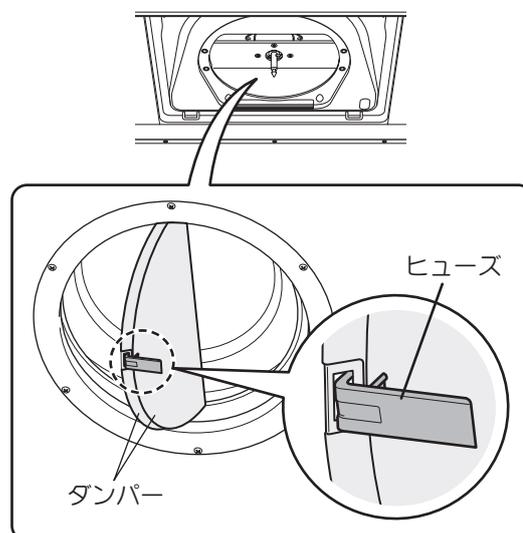
お願い

ディスクを落としたりして変形させないでください。(異音や振動の原因になります。)



4 温度ヒューズの取付状態を確認します。

ダンパーに温度ヒューズが取り付けられ、ダンパーが開いていることを確認してください。

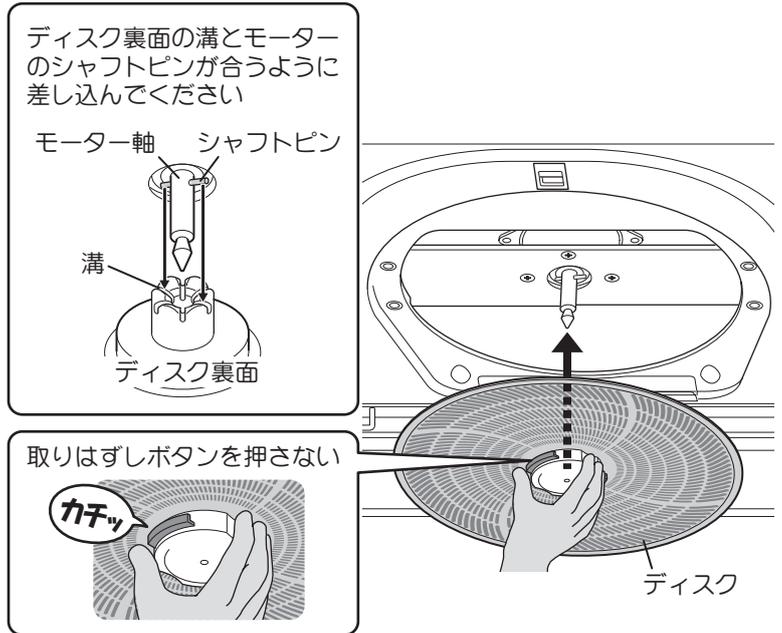


取り付けかた

5 ディスクを取り付けます。

取りはずしボタンを押さずにディスクを持ち、裏面の溝をモーターのシャフトに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し上げます。

取り付け後、ディスクを少しひっぱり、はずれないことを確認してください。



お願い

- ディスクの固定は確実におこなってください。不完全な取り付けは落下の原因になります。
- モーターシャフトについているグリスはふき取らないでください。モーターシャフトが錆び付くことを防止します。



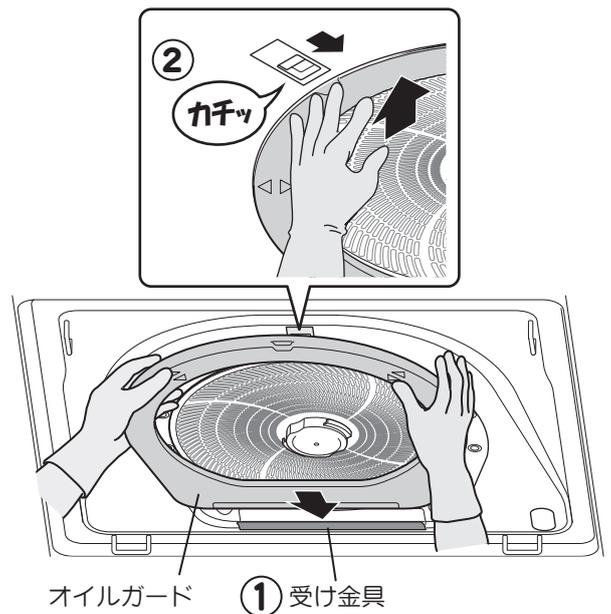
6 オイルガードを取り付けます。

オイルガードを両手で支えながら奥側の受け金具に差し込み (①)、前側を押し上げて取り付けます (②)。

※ 前側は「カチッ」という音がするまで上に押し込んでしっかりと固定してください。

お願い

オイルガードの固定は確実におこなってください。不完全な取り付けは落下の原因になります。



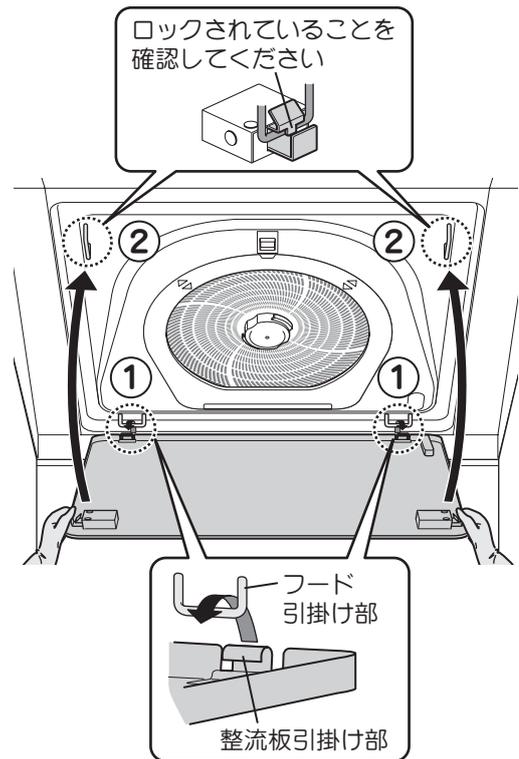
取り付けかた

7 整流板を取り付けます。

- 1) 奥側左右の整流板引掛け部をフード引掛け部に確実に引っ掛けます (①)。
- 2) 整流板を両手で支えながら手前側を「カチッ」という音がするまで上に持ち上げ、固定します (②)。
取り付け後は整流板を上下に動かし、はずれないことを確認してください。

お願い

整流板の固定は、確実におこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。
また、取り付けが不完全な場合は運転ができません。



取り付けかた

5. 電気配線

警告



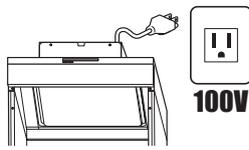
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
誤作動の原因になります
また、故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは施工管理会社にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- ・電源は専用のコンセント（2極接地極付差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- ・「7. 試運転」（次ページ）までブレーカーは「入」にしないでください。
- ・コンセントは電源コードの長さ（機外長約 1m）を考慮し、設置してください。

6. 取扱説明書の取りはずし

- 整流板に貼り付けてある取扱説明書ははずします。

取り付けかた

7. 試運転

注意



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



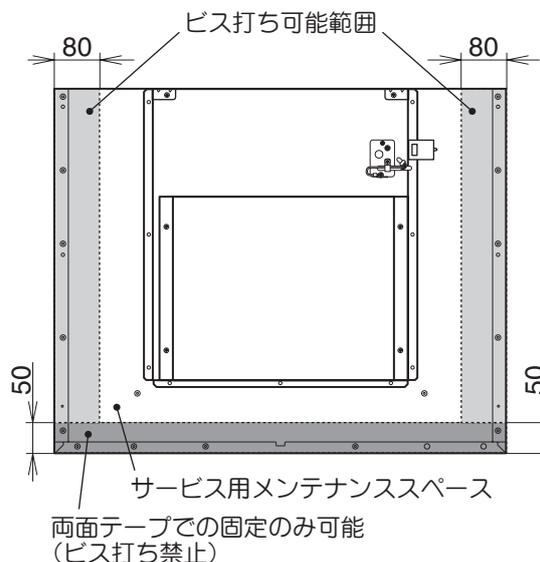
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- 防火ダンパーに温度ヒューズが取り付けられ、シャッターが開いていることを確認してください。
- 整流板が正しく取り付けられていないと運転ができません。
整流板の取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので
十分確認してください。

8. メンテナンススペースについて

化粧ボード等の固定部材(下地材)を製品上面に固定する場合は、右図のサービス用メンテナンススペースを確保してください。

お願い

- ・ビス打ちは必ず、ビス打ち可能範囲内におこなってください。それ以外の場所にビス打ちをおこなった場合、内部配線等が損傷するおそれがあります。
- ・前面側は、両面テープによる部材固定のみ可能です。



取り付けかた

9. 店舗管理者様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ず店舗管理者様にお渡しください。
お読みになった後はいつも手元において大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 本機器を移設または譲渡するときは、必ず本書を添付してください。
本書を読まずに操作や整備をおこなうと、ケガや事故の原因になります。
なお、設計上の標準使用期間を超えて使用することは、経年劣化による重大事故の発生に至るおそれがありますので、設計上の標準使用期間を超えた製品の譲渡等はおやめください。
- 本機器は国内専用です。
本機器は国内専用で設計されています。海外では使用できません。
- 当社の許可なく本書を複製することを禁じます。

警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず取扱説明書を読ませ、指導をおこなってください。
取扱説明書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、ケガや事故の原因になります。